

3 実践事例とその考察

「空間軸」を踏まえて時代の特色を総合的に考察させるワークシートを用いた授業実践

(1) 授業実践1 単元名：古代国家の展開から見る「中央集権」

【単元について】

本小単元は、学習指導要領の日本史Bの大項目「(1) 原始・古代の日本と東アジア」の中項目「イ 日本文化の黎明と古代国家の形成」の「旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色と成立の背景について考察させる」を受け設定している。特に、7世紀後半以降から8世紀にかけて、我が国における中央集権的政治体制の確立が東アジア世界との交流の中で展開されたことについて取り扱っている。

そこで、本小単元では、まず、第一次から第三次にかけて、古代の我が国における中央集権的政治体制の特色、国内政治・外交、社会、文化等について多角的・多面的に考察させる。そして、第四次における単元の振り返りでは、単元の学習内容を通して習得した知識を活用させて、当時における中央集権的政治体制の意味や意義を解釈させるとともに、自分でつくりあげた「中央集権」という視点をもって歴史を考察させる。

【単元の目標】

律令国家初期の中央集権国家体制の特色について、歴史学習における「中央集権」という視点に着目しながら考察させる。

【単元の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
律令国家初期の我が国の動向から、歴史学習における「中央集権」という視点に対する関心と課題意識を高めている。	律令国家初期の我が国の動向から、東アジアにおける我が国の地理的条件・国際環境と関連付けて、古代国家の「中央集権」について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	律令国家初期の我が国の動向に関して、「中央集権」についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	律令国家初期の我が国の動向から「中央分権」について理解し、その知識を身に付けている。

【指導と評価の計画（全7時間）】

時程	学習活動	活用する資料等	評価の観点				評価規準
			関	思	技	知	
単元の基軸となる問い：古代国家における「中央集権」とはどのようなものか？							
第一次 (1時間扱い)	問い：7世紀後半～8世紀初頭に天皇を中心とする中央集権体制がつけられたのはなぜか？						
	<p>○7世紀後半から大宝律令制定に至るまでの国内政治の展開と東アジア外交を復習する。東アジア外交に関する年表から、大宝律令制定の背景について確認し、天皇中心の中央集権体制を目指してきたことをワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内政治と東アジア外交について比較した年表 ・東アジア外交に関する地図及び年表 	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ◎7世紀以後の我が国の動向について理解している。 (発言内容) ◎国内政治と東アジア外交を関連付けながら、大宝律令が制定された背景について説明できる。 (ワークシート)
第二次 (3時間扱い)	問い：大宝律令による政治体制は、本当に天皇中心の政治体制か？						
	<p>○律令制度及び都と地方との関係に関する諸資料の読み取りを通して、律令制度、都と地方との関係などについてワークシートに記入する。</p> <p>○奈良時代の政争、及び土地政策の変更に見られる当時の社会の変化から、奈良時代における「中央集権」の特色や課題について意見交換を行うことで、考察を深める。考察を通して、奈良時代の国内政治を動かした立場や要因が何かをワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太政官制の図 ・官位相当表 ・地方行政区分の地図 ・平城京の図 <ul style="list-style-type: none"> ・年表 ・土地政策に関する法令 	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ◎教科書・資料集など諸資料から、提示された問いに関わる箇所を適切に選択し、読み取っている。 (ワークシート、発言内容) ◎大宝律令に関する諸制度について資料と結び付けて理解している。 (ワークシート) ◎他者との意見交換を踏まえて、奈良時代の政治・社会における課題を多面的・多角的に考察している。 (ワークシート)

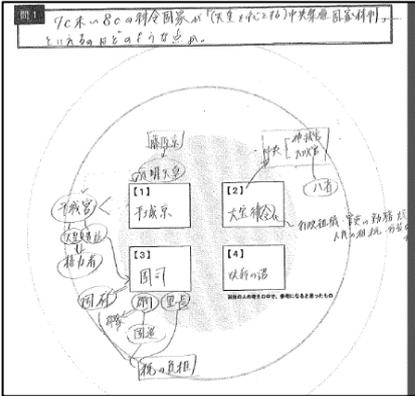
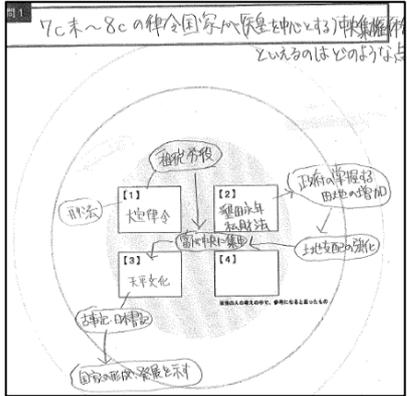
時程	学習活動	活用する資料等	評価の観点				評価規準
			関	思	技	知	
第三次 (1時間扱い)	<p>問い：白鳳文化・天平文化の特色は何か？</p>						
	<p>○白鳳文化と天平文化を比較することで共通点・相違点を見だし、「中央集権」に関わる文化の特色について意見交換し、ワークシートに記入する。</p>					●	<p>◎中央集権体制の下での文化の特色について理解している。 (ワークシート、発言内容)</p>
第四次 (2時間扱い) 本時 1 / 2	<p>問い：「集権と分権」の視点から日本の歴史はどのように見えるか？</p>						
	<p>○第三次までの学習内容を振り返り、6世紀後半以降の中央集権体制の形成と奈良時代の政治・外交・文化等の展開から、「中央集権的政治体制」について考える上で必要な知識を精選・関連付けながらワークシートに整理する。 <本時></p> <p>○前時の学習活動を踏まえて「中央集権」についての概念をワークシートにまとめ発表する。中学校で学習した日本史の内容について、「集権と分権」という視点から平安時代以降の歴史の展開をワークシートに整理し、今後の歴史の動向を展望する。</p>	<p>・中学校の教科書及び資料集等</p>			●	<p>◎本時の問いに答えるために必要な知識を精選し、関連付けができています。 (ワークシート)</p> <p>◎作業した内容から必要な知識を精選し、根拠をもって「中央集権」について説明している。 (ワークシート、発言内容)</p> <p>◎「中央集権」の視点から各時代の「集権と分権」に関する課題について意欲的に追究している。 (ワークシート)</p>	
事後	<p>・ペーパーテストの実施</p>						○ ○ ○

【本時の展開（6／7）】

本時の目標

- ・律令国家初期の我が国の動向から「中央集権」についての多面的・多角的な考察のために、本時の問いを基に必要な知識を精選し、関連付けさせる【思考・判断・表現】

授業の実際

	学習活動	教師の支援（◆）・発問（T）、生徒の発言（S）、評価（●）
導入（10分）	<p>○「本時の問い」を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中央集権」の言葉の意味を確認する。 ・他の時代に、「集権的な政治体制」があったかどうか想起する。 	<p>◆発問を通して、「中央集権」の意味を確認させた。</p> <p>《教師の発問と生徒の発言》</p> <p>T：「集権」という言葉の意味は？</p> <p>S：中央の政府に権力を集中させること。</p> <p>◆中学校までの学習内容を踏まえて、発問を通して確認した。</p> <p>《教師の発問と生徒の発言》</p> <p>T：他の時代に「中央集権」があったかな？例えば、戦国時代、江戸時代、明治時代はそれぞれどうかな？</p> <p>S：廃藩置県、地租改正、徴兵令などの明治維新の改革は「中央集権」ですね。戦国時代は、いろいろな戦国大名がいたので集権とはいえないか。江戸時代は…その中間ぐらいかな…。</p> <p>T：時代によって集権的・分権的な時代がそれぞれありそうだね。今日は、これまで学んできた奈良時代の律令国家について考えてみようね。</p>
展開（30分）	<p>○「本時の問い」を考察するため、第三次までの学習内容から必要な知識を精選し、ワークシートに整理し、関連付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「核となる知識」を自分で3つ取り上げ、さらに「補完する知識」を関連付ける知識をワークシートに記入する。 	<p>◆知識の精選に当たっては、問いに答えるための「核となる知識」「補足的な知識」などを区別しながら配置させた。</p> <p>◆知識の関連付けは、線を引かせたり、線に関連付ける理由等を記入させたりした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

生徒のワークシートの記述内容

	<p>○ワークシートの記入内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入した内容をグループで検討する。他の生徒の説明から最も参考になると思った知識を自分のワークシートに記入する。 ・クラス全体で活動内容を共有する。その内容を別のワークシートに記入し、自分が整理した内容と比較する。 	<p>◆ワークシートに他の生徒の意見を記載する場合は、マーカーなどを引かせ、自分の意見と区別させた。その後、知識と知識をどのように関連付けたのか、その根拠を述べさせるように発問した。また、知識の関連付の内容を板書し、全体で共有した。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>《教師の発問と生徒の発言》</p> <p>T：大宝令の「令」とは？ 現代ではどんな法律のこと？</p> <p>S：民法。民衆の管理するためのもの。</p> <p>T：なぜ民衆を管理する必要があったのか？</p> <p>S：税を徴収して、律令国家の財源にするため。</p> <p>T：「大宰府」と「遣唐使」とが線でつながるのはなぜかな？</p> <p>S：大宰府は外交の窓口であり、「遣唐使」と関わりがあったから。</p> <p>T：なぜ外交が大切なの？</p> <p>S：国内政治を安定させるためにも、安定した外交関係が必要だから。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>活動内容を共有するための板書</p> </div> <p>●【思・判・表】の評価 (ワークシートの記入内容)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>(B)「おおむね満足できる」状況と判断される目安 「本時の問い」に答えるために必要だと判断した4つの「核となる知識」(「律令」「都と地方」「遣唐使」「天平文化」等)を中心に整理し、時代の特色(空間軸)を踏まえて関連付けて記入している。</p> <p>(A)「十分満足できる」状況と判断される目安 (B)に加えて、「核となる知識」(「律令」「都と地方」「遣唐使」「天平文化」等)同士を関連付けている。</p> <hr/> <p>(C)「努力を要する」の場合の支援 「律令」「都と地方」「遣唐使」「天平文化」等の「核となる知識」を与えて考えさせる。</p> </div>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>○展開でワークシートに記入した知識について、特に「中央集権的な政治体制」と考えられるものを抽出する。</p> <p>○次時の学習活動を知る。</p>	<p>◆必要な知識を選ぶ際には、「政府の権限の強化を示す用語」など視点をもって選ぶように伝えた。</p> <p>◆次時の学習活動に当たって、必要と考えられる内容に焦点化しながら補足説明を行った。</p>